

高松市議会 ●平成30年12月 ●一般質問

今回の質問で3期目最後の質問となることから、今までの自身の決算として、選挙時の公約に照らし、これまで市民と一緒に現場に立ち、汗する中で気が付いたこと、高松市に必要な取り組みを具体的に提案するため、5項目について11の取組みを提案しました。



Q1 子ども若者支援の充実について
① 市民と協働による訪問型子育て支援（ホームスタート）への受け止めと、支援の必要な家庭への今後の取組み [実現度：○]
② 医療的ケア児を受け入れるための今後の取組み [実現度：○]
③ 困難な状況にある本市の若者やその家族を支援する考え [実現度：○]

Q2 多様な働き方を提供する観点から就労支援に取り組む考え
① 人手不足を解消し、困難を抱える若者や障がい者、高齢者に対し、多様な働き方を提供する「就労支援」を充実させる [実現度：△]

Q3 福祉の充実について
① 福祉専門職の育成と管理職員として登用する考え [実現度：○]
② 地域福祉ネットワーク会議を充実させる考え [実現度：○]
③ 新しい総合事業における訪問型サービスD（移動支援）実施の考え [実現度：△]

Q4 高松市文化芸術振興計画改訂の取組み
① 「今とこれからを生き抜く力、創造する力を育む」ための更なる取組み [実現度：○]

Q5 防災情報について
① 臨時災害放送局として地域コミュニティ放送の機能維持、強化の取組み [実現度：○]
② 地域に対し災害時に情報収集しやすいよう災害対応記録票を周知する考え [実現度：○]
③ 学校の教室などで緊急災害情報が流れる対策 [実現度：○]

Q1②の質問について
近年、人口呼吸器やたんの吸引、経管栄養など医療的ケアを必要とする児童が増えています。公明党が国で推し進めた対策を基に、堺市などが行ったモデル事業や町田市のガイドライン策定の事例を通し、具体的な今後の取組みを訴えました。国のモデル事業の活用や、医療的ケア児の受け入れ体制構築に向けたガイドラインの策定を行うことが決まりました。

●会計報告 政務活動費		
平成30年4月～12月		
経費の区分	金 額	
1 調査研究費	87,297	
2 研修費	0	
3 広報費	529,267	
4 広聴費	0	
5 要請・陳情活動	0	
6 会議費	11,640	
7 資料作成費	0	
8 資料購入費	37,746	
9 人件費	0	
10 事務所費	39,399	
合 計	705,349円	

高松市議会では、他の議会で政務活動費の不祥事が続いたことにいち早く対応し、他の議会より厳格であった「政務活動費の使途基準運用指針」をさらに厳格に改め、収支報告書及び添付書類の全てについて、ホームページ上で公開を開始しています。

高松市議会の過去の会議録やインターネット議会議中継は
ホームページでご確認いただけます。



会議録検索 議会議中継

E-mail : info@haruta.jp 相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。党員に限らず、どなたでも結構です。



高松市議会議員
春田 敬司
はるた けいし
1967年 兵庫県神戸市生まれ
国立高松工業高等専門学校機械工学科卒
(有)ジャストブレイン代表取締役(経営コンサルタント)
平成19年4月高松市議会議員初当選。妻と大学生の娘・息子、愛犬1匹の5人家族。愛読書は「三国志」、「永遠の都」。ポリシーは「認識せずして、評価せず。」

春田敬司のオフィシャルサイト

http://www.haruta.jp



— KOMEITO —
公明党
春風通信 はるかぜつうしん VOL.14

発行者：高松市議会議員 春田敬司
発行日：2019年1月
連絡先：〒761-8013 高松市香西東町14番地8
電 話：087-842-5730



●主な活動実績		平成30年4月～12月
4月1日	高松空港民営運営開始記念レセプションに出席	
6日	弦打保育所入所式に出席	
8日	(社)香川県手をつなぐ育成会「地域ふれあいの日」に参加	
10日	勝賀中学校入学式に出席	
11日	弦打小学校入学式に出席	
12日	つるうち幼稚園入園式に出席	
19日	「観光立国革命」講演会に参加	
21日	「わたしからはじまるコミュニケーション」に参加	
24日	高松市防災合同庁舎落成式に出席	
28日	弦打小学校・幼稚園・保育所教職員歓迎会に出席	
29日	NPO法人K.H.J香川県オリブの会総会に参画出席	
5月1日	高松市議会議員に議会改革要望書を提出	
3日	高松春のまつり「フラワーフェスティバル&交通安全フェア2017」出席	
7日	高松市創造都市ビジョン懇談会(U40)プラン発表会に参加	
8日	教育民生常任委員会に出席	
11日	高松市議会第2回臨時議会に出席	
12日	香川県アート県クロナカル第1回「アート県の底力」に参加	
16日	ひまわりCafeに参加	
20日	弦打校区運動会に出席	
26日	勝賀中学校運動会に出席	
〃	NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク香川 総会に参加	
30日	議会改革ICT推進プロジェクトに出席	
6月3日	SDGz88「SDGzって何？」に参加	
6日	議会運営委員会に出席	
8日	議会改革ICT推進プロジェクトに出席	
11日～26日	高松市議会 公明党会派の代表質問	
15日	高松市議会 公明党会派の代表質問	
〃	NPO法人アーキペラゴ 総会に参加	
28日	「子ども食堂を考える」講演会に参加	
30日	香川県アート県クロナカル第2回「香川県の建築の魅力」に参加	
7月2日	都市計画道路本太鬼無線開通式典に出席	
3日	「ぬくぬくサマーコンサート」に参加	
24日	瀬戸広域連携中核圏域による若者会議を傍聴	
25日	子どもの貧困対策コーディネーターネットワーク講演会に参加	
26日	教育民生常任委員会に出席	
27日	議会運営委員会に出席	
〃	たかまつ農業ITCマッチング交流会に参加	
〃	香川県アート県クロナカル第3回「うどん県のルーツはここから」に参加	
30日	高松りんくうスポーツ公園を視察	
31日	高松市議会公明党議員会派視察 渋谷区	
8月1日	高松市議会公明党議員会派視察 世田谷区・武蔵野市	
2日	〃 足立区・参議院会館	
5日	高松市みんなの病院内覧会に出席	
7日	議会運営委員会に出席	
11日	高松市立美術館30周年記念事業講演会に参加	
〃	高松政策プランコンテスト2018を傍聴	
14日	高松祭り総踊りに参加	
18日	こどもミライエ「わくわくワークチャレンジ」に参加	
24日	香川県アート県クロナカル第4回「流政之と讃岐民具連」に参加	
27日	高松市生徒みらい議会を傍聴	
31日	高松的台湾夜市in北浜アリーナに参加	
9月1日	第29回 日本バレー陸上競技選手権大会を観戦	
2日	地域づくりチャレンジ塾2018に参加	
4日	議会運営委員会に出席	
6日	議会改革ICT推進プロジェクトに出席	
7日～26日	高松市議会第4回定例会	
23日	K.H.J香川県オリブの会の月例会「ひきこもり講演会」に参加	
26日	議会運営委員会に出席	
10月2日	高松市戦争犠牲者追悼式に参加	
3日	「いろいろな性、いろいろな生き方 性の多様性」講演会に参加	
6日	第30回 星空の街★あおぞらの街全国大会in高松市に参加	
〃	LGBTカミングアウト・フォト・プロジェクトに参加	
〃	高松市教育文化祭に参加	
7日	不登校フォーラムに参加	
10日	高松市議会・防災研修に出席	
12日	高松市・ツール市姉妹都市提携30周年記念式典に参加	
13日	地域づくりチャレンジ塾2018に参加	
14日	「讃岐学園」へオレンジリボンランタンづくりの手伝い	
19日	香川県アート県クロナカル第6回「香川県の工芸と美術の歴史」に参加	
20日	(社)ひかりエコ・エンジニアリング会 国分寺作業所交流会に参加	
27日・28日	弦打地区地域ふれあい交流事業文化祭に参加	
28日	高松市消防団総合演習に参加	
29日	教育民生常任委員会視察 江戸川区	
30日	〃 藤沢市	
11月2日	香川県アート県クロナカル第7回「直島がアートの聖地になるまで」に参加	
5日	「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」に参加	
8日	議会運営委員会視察 岡崎市	
9日	〃 八尾市	
11日	高松市震災対策総合訓練に出席	
〃	高松政策プランコンテスト2018に参加	
16日	高松市議会議員と市民との意見交換会に出席	
19日	高松一校生との意見交換会に出席	
24日	香川県アート県クロナカル第8回「金子正則」に参加	
27日	教育民生常任委員会に出席	
30日	市長への予算要望・議会運営委員会に参加	
12月5日～20日	高松市議会第5回定例会議	

平成30年4月～平成30年12月の市民相談件数124件 [累計1,533件]

春風通信

はるかぜつうしん

高松市議会議員
春田 敬司 と明日を考える。

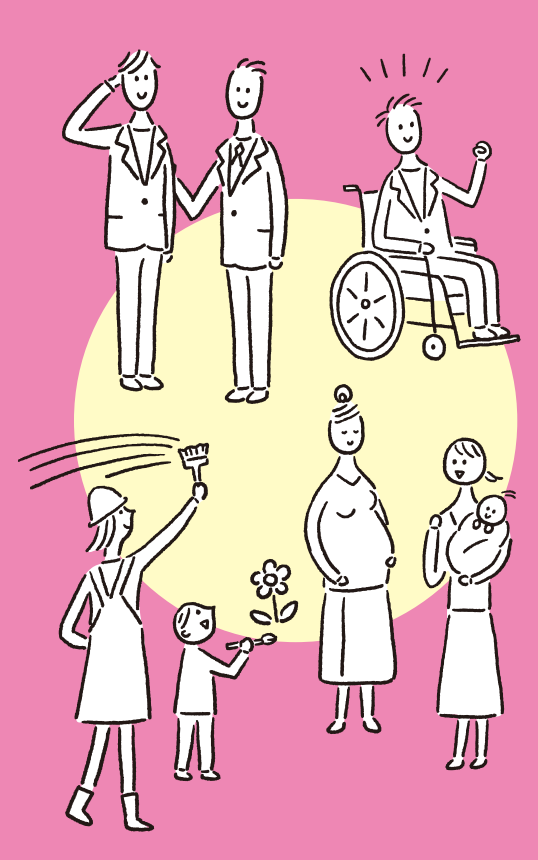
市議として
2007年より3期12年

頑張る人が報われるために
私はこれからも
頑張ります！



なぜ私は経営コンサルタントから市議会議員を目指したのか。

私は市議になる前に経営コンサルタントをしていました。
では、なぜ畑違いの「市議」を目指したのか。それは、私の中で目的が同じだったからです。



頑張る人を応援したい。

そもそも私は、20歳のころから「頑張る人が報われる場所をつくりたい」と考えていました。人は生まれながらにして色々な違いがあり、格差があります。その人なりに頑張っている人も社会で評価されないことや、報われないことが沢山あります。こと仕事においては結果が重要であることは十分承知していますが、それだけではないはず。10の力を持っていて5の力を発揮している人と、5しか力を持っていないけど4の力を発揮している人がいるとすれば、一般的には前者が認められます。でも、私は後者の人を応援する人でありたいのです。「きっと同じ想いを持つ経営者はいるはずだ」と考え、素晴らしい経営者を支える経営コンサルタントの仕事を選択し独立開業しました。その後は多くの人に支えられ、会社という単位では、理想に近づく成果が出始めました。すると、こんな私に「高松市議会議員になって欲しい」とのお声をいただいたのです。「もう一歩前進しよう」。そう決意して、市議に転身しました。今の私の目標は、「頑張る人が報われる村(自治体)をつくること」。20歳の時から目指す理想は変わっていません。



3期12年の歩みと高松市のこれから。

市民に一番身近な政治が、基礎自治体と言われる高松市です。ここには毎日の暮らしがあり、未来のまちづくりがあります。私に寄せられた困りごとや、市政への要望の一つひとつにお応えする中で、3期12年で多くの実績を重ねることができました。しかし高松市には、超少子高齢社会による「課題」が怒涛の波のように押し寄せています。多様な価値観が溢れる中で、限られた財源を最大限に活用し、より良い高松市にする。そのためには何を優先するか、取捨選択をしなければなりません。今求められることは、議員がなおいっそう市民の声を聴き、しっかり調査研究し、議論を尽くすことです。私は、議員と議会がもっと変わる必要があると考えています。



頑張る人を応援するために 春田敬司

3期12年間の主な実績



誰ひとり 取り残さない！



「頑張る人が報われる村をつくりたい」との初心を大切に、今日の前に困っている人の声にひとつひとつ応えてきました。その中で、既存の制度の狭間で悩み苦しむ課題を数多く解決してきました。

若者支援の充実

いじめや不登校、ニート、ひきこもりなど、現代の若者を取り巻く環境は大変厳しいものとなっています。平成22年から若者支援の充実を議会で訴え続け、平成29年によりやく「高松市若者支援協議会」の設置が実現しました。



ひきこもり支援体制の充実

ひきこもり親の会からの要望を受け、ひきこもり相談窓口の充実と当事者の居場所ともなる「傾聴サロン」を開設しました。また、四国で初となる「ひきこもりサポーター派遣事業」を実施しました。

障がい者の相談体制を強化

障がい(身体、知的、精神)の区分ごとの縦割り行政を、関係機関が連携しワンストップで支援ができる体制を訴え続け、平成30年に「基幹相談支援センター」の設置を実現しました。また、市の備品や役務でのハート調達(障害者就労施設等からの購入)を拡大推進しました。



寡婦控除のみなし適用を実現

「同じシングルマザーなのに保育料が違うのは納得できない」との訴えを機に調査。未婚のひとり親は寡婦控除が受けられない税制により所得が高く算定され、所得に応じて算出される保育料など様々な市政サービスに差が生まれていました。平成24年から高松市で「のみなし控除」を実現しました。国会議員とも連携し、税制の改正にも繋がりました。



経営コンサルタントの 経験を活かし 業務改革を推進



長年培ってきた経営コンサルタントの経験と人脈を活かし、高松市の行政経営(事業)をチェックし、効率化、最適化を提案・推進してきました。

教育現場の情報化・校務支援システムの導入

学校の先生の仕事量は年々増加し、家に持ち帰らなくては追いつかない現状です。この過程で個人情報紛失するトラブルが繰り返されていました。今では普及してきたIT(クラウド)技術の活用を議会で提案し、校務支援システムとして中・四国初の導入となりました。優れた先生の知見やノウハウが全ての教室で共有化されると共に、生徒に向き合う時間の増加が期待できます。



徘徊高齢者の早期保護へ、 支え合いのネットワークをシステム化

「家族が行方不明になって帰ってこない」との相談からスタート。認知症による高齢者の徘徊を地域全体で見守る「徘徊高齢者保護ネットワーク」をインターネット技術のメーリングリストを活用することで実現しました。

情報技術(ITC)や人工知能(AI)の活用で 業務の効率化を推進

情報技術を市政の業務で活用できる体制づくりを訴え続け、ICT推進室が整備されました。更に議会で具体的な改善例を示し、待機児童解消と事務負担の軽減を図るため、保育所入所選考システムの導入を提案し、今春から活用が開始されます。



地域で一緒に汗する 中で得た知見を 市政に反映



これからはますます、隣近所や地域で支え合う“共助”が重要になってきます。その地域の絆を再構築するきっかけとして「防災」や「助け合い」が大切だと考え、地域の防災部会や地域福祉ネットワーク会議に参画。同じ一人の住民として一緒に汗を流し、実際の現場で得た知見を市政に反映しています。

地域防災力の向上を推進

大規模災害時に避難所が円滑に開設できるよう、避難所運営マニュアルの再整備と訓練での活用を提案しています。また、災害時に被害が集中する高齢者や障がい者などに、避難の呼びかけや安否確認ができるように、常日頃の声かけができる体制づくりも訴えています。



地域の支え合いの充実

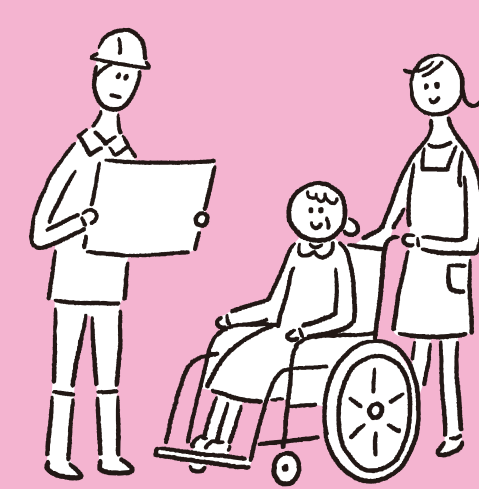
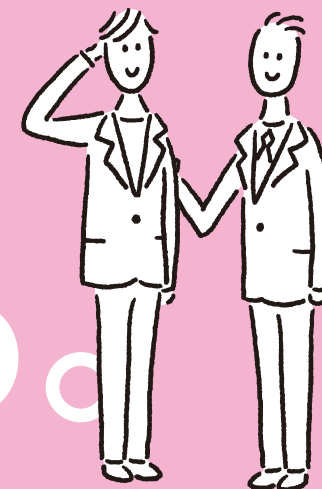
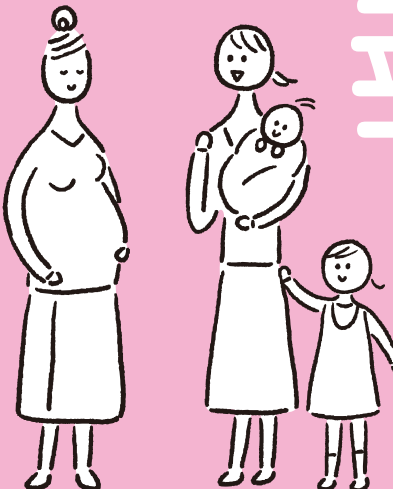
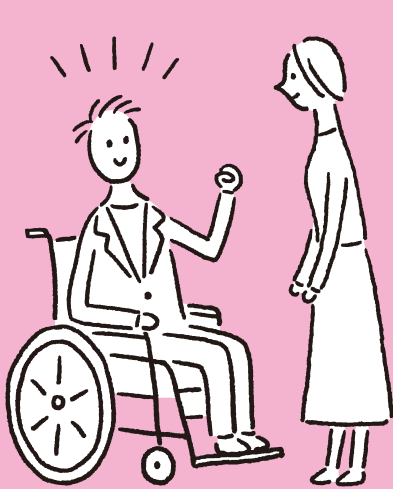
高松市社会福祉協議会の重要性を説き、地域と一緒に解決を進める「生活支援コーディネーター」の配置と拡充を訴え実現しました。地域福祉ネットワーク会議にも一緒に参画し、現場での取り組みから見えた課題を市政に反映しています。



春田の目標は

頑張る人が 報われる村 をつくる。

自治体



文化の力で 高松を元気に！



多様な価値観があり、大切なことも美しいと感じることも人それぞれ違います。だからこそ、自分が感じたことを表現し、他人の表現に共感することで、ゆとりや潤いを実感できるのです。これが文化・芸術の力です。心豊かな生活を実現するためには不可欠で、創造的な経済活動の源泉でもあります。この「文化・芸術の力」を信じ、高松に活力を生み出してきました。これからもこの力で、魅力的な創造都市・高松を創って参ります。

「高松市文化芸術振興条例」の制定を推進

高松市政の柱に「文化芸術振興」を据え、まちづくりを行うことの基本理念となる条例制定を推進。具体的な事業を明記した計画づくりも推進しました。

瀬戸内国際芸術祭の開催を支援

瀬戸内国際芸術祭に誘致から関わり、開催を支える民間ボランティア「こえび隊」のバックアップも行ってきました。高松市も主体者として成功させるべく議会で訴え続けています。



男木島の保育所・小学校・中学校の再開に尽力

「瀬戸芸で男木島の魅力に気づいた。戻りたいが子供の学校が休校中で戻れない」との声に応え、学校の再開に道筋を付けました。島に灯った希望が大きく拡がり、今では保育所の待機が生じるまでになっています。

全国初！芸術士派遣事業を実現

未来の宝であるこども達の個性と創造性を育む人間教育として、保育所や幼稚園などに現役のアーティストを派遣する「芸術士派遣事業」を推進。平成21年から開始し、今や創造都市・高松の看板事業に成長しました。